

要望書（回答）

- ① 新築住宅及び85歳以上の世帯の戸別収集の導入に伴うごみステーションの増加が収集運搬時間の増加になることをご理解いただき、収集車両台数の確保と効率的な収集作業について検討していただきたい。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

戸別収集85につきましては、今後の申込み状況などを踏まえた収集運搬時間を把握し、適正な委託費の確保に努めてまいります。

また、申請の際には、戸別容器の種類や適切な設置場所を十分に確認した上で承認するなど、効率的な収集に協力して頂けるよう働きかけてまいります。

なお、旧型（アルミ製畳み式）ごみステーションにつきましては、今後10年間で新型ごみステーションの更新を進めており、ごみカレンダーの見直しも含めて、今後も貴組合と協議しながら収集作業の負担軽減や効率化を図ってまいりたいと考えております。

- ② 収集作業員の賃金算出にあたっては、公共工事設計労務単価に準拠するとともに、同一労働同一賃金の原則に則り、普通作業員と軽作業員の区分解消に向け、取り組んでいただきたい。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

今後も家庭ごみ収集運搬業務の安定的な継続のため、また、担い手である従事者確保のため、これまでと同様、業務内容や実態に見合った適正な委託費の確保に努めてまいります。

- ③ 委託業務における運搬費用としての燃料費については、近年の急激な価格上昇を反映した適正な価格で対応していただきたい。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

家庭ごみ収集運搬業務は、多くの塵芥車を使用するため、燃料油価格の影響が大きいものと認識しております。

今後も適時適正な取引価格を委託費に反映してまいりたいと考えています。

④ 不適正な排出について、市民指導を強化するとともに、その処理について迅速に対応する方策について具体的な対応を講じていただきたい。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

不適正排出防止につきましては、ごみの分別排出によるリサイクルの推進やごみ処理負担の公平性の確保、まちの環境美化の推進等に向けて必要不可欠な取組であると考えております。

新たな防止策としては、市民のごみ分別に関する意識を高めるため、現在、違反者への告知のために貼っている違反シールを、黄色（イエローカード）と赤色（レッドカード）に色分けすることで、収集作業の効率化にもつながることから、令和6年度からの実施に向けて、今後も貴組合と協議しながら検討して参りたいと考えております。